

施策評価シート

1 基本情報

他課においても同一施策で事業を実施しています。2/2

年度	23	取り組み事項	生きがいつくりを推進する		担当部課名	
	まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		教育委員会生涯学習課		
	施策名(大)	高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり		担当部長	板脇 厚生	
	施策名(中)	高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	西角 隆行	
	目的	高齢者が気軽に集い、仲間と出会い、生きがいをもって過ごせるよう、生きがいセミナー、金ヶ崎学園大学などにより、高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図ります。また、学習を通して、積極的な地域社会活動への参加を促します。				

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標	
		21年度	22年度	23年度	27年度	32年度
金ヶ崎学園大学学園生	人	537	561	589	580	580
金ヶ崎学園大学年間延参加者数	人	6,466	7,858	7,935	6,200	6,300

★がつけられている指標は、基本計画に記載している「めざそう値」となります。

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)
事業費	円	541,276	550,172	1,144,571	706,000
人件費	円	1,144,144	1,158,861	2,800,328	2,601,000
合計	円	1,685,420	1,709,033	3,944,899	3,307,000

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	◎ ○ △ ▲	概ね順調に推移している 一定程度進展している 少しは進展している 進展していない 金ヶ崎学園大学開設により、高齢者の生きがいつくりを推進している
②社会情勢の反映・有効性	◎ ○ △ ▲	有効に対応できている 情報把握に努めている あまり対応できていない 有効に対応できていない 学園生の増加
③構成事務事業の妥当性	○ ○ △ ▲	効率的な構成である 改善が必要な事業がある(1事業) 改善が必要な事業がある(複数) 構成自体に問題がある 高齢者生きがいつくり事業として展開している
④業務方法の効率性	○ ○ △ ▲	効率的に進めている 改善等の余地が一部ある 改善等の余地が大きい 抜本的な改善等が必要である 学園内に組織する自治会との連携による事業の実施
⑤施策の総合評価	A B C D	継続 改善 再構築 見直し・縮減 高齢者の生きがいつくりを図る有効な事業である

【成果】

金ヶ崎学園大学においては、心身ともに健康で自立する心を養うことを目的に、教養講座、専門講座を開設し、本科生・聴講生をあわせて589人が受講した。

5 施策の推進に向けた今後の対応

第三者評価委員会意見	利用者の意向をくみ取るためのアンケートを実施するなど、今後はさらなる利用者のニーズの把握に努め、新たな事業展開も視野に入れた効果的かつ効率的な事業展開を行っていく必要がある。	既存事務事業及び新規事業の方向性	金ヶ崎学園大学学園生自らが主となる運営方法への検討
------------	---	------------------	---------------------------

6 構成事務事業

NO	事務事業名	指標名 (単位)			投入資源(円)		妥当性	進捗
					事業費	人件費		
		22年度実績	23年度実績	24年度目標	22年度	22年度		
					23年度	23年度		
事業開始年度				24年度	24年度			
1	高齢者教育事業	金ヶ崎学園大学学園生		人数	550,172	1,158,861	4	4
					644,571	2,201,584		
					706,000	2,259,100		
2	元気シニアプロジェクト事業	参加者数			500,000	598,744	4	4
						2,080		
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								